

武蔵野美術大学 校友会広島支部会報



No.38

2022.06

〒732-0067 広島市東区中山東 1-4-29
事務局長 / 城山泰彦 TEL 082-224-6006

〒732-0023 広島市東区牛田旭 2-14-1
支部長 / 木本良助 TEL 090-2802-6417

支部長退任のご挨拶

遠藤吉生 昭和51年(1976) 学建
平素より校友会会員の皆様には支部運営にご協力いただき、深く感謝申し上げます。さて私は21年度を持ちまして支部長を退任することとなりました。2016年度より3期6年務めさせていただきました。とはいえこの会にとって最も大事なMUSABI展をコロナ禍により2020、21、と開催できず今年度も断念せざるを得ないことは誠に残念でなりません。それでも広島支部は支部長に木本良助さん、事務局長に城山泰彦さんをお迎えして、生まれ変わります。新体制にどうぞご期待ください。

支部校友会旗の複製を製作中です

集合写真でおなじみの、支部校友会旗。若き日の吉野誠先生(昭和31年1956年 図画工作教員養成科 二部)の手作り作品です。長年の使用でボロボロになってしまい、前回の総会を最後に引退となりました。現在、吉野先生の作品と同じデザイン・サイズで複製を製作しています。次回の総会でお披露目できればと思います。総会で長年お世話になった広島駅前のホテルセンチュリー21が今夏、閉館すると報道で知りました。担当の石川さん、長きにわたりご尽力いただきありがとうございます。



議題 決議結果のお知らせ

昨年度に続き、本年度の校友会広島支部総会はコロナ禍のため会場に集まったの総会決議が困難となりましたので、校友会広島支部のみなさまに送付した決議案の返信結果をもって決議とさせていただきます。

2021年度総会議題

- 第1号議題 決算の承認
- 第2号議題 MUSABI展の開催の判断
- 第3号議題 来年度事業計画の承認

総返信数 29名 (内メール 15名)

第1号議題	承認 28 保留 1
第2号議題	中止 24 開催・保留* 5 *開催されれば参加したいなど
第3号議題	承認 27 保留 3

結果、決算の承認と来年度事業計画については承多数にて承認。MUSABI展については開催しない事となりました。

役員改正のお知らせ

新支部長 木本良助 平成12年(2000) 学油
事務局長 城山泰彦 平成8年(1996) 基礎デザイン
が就任しました。

校友会 広島支部 2021年度分会計報告

21年4月1日～22年3月31日 (単位/円)

記入者名(会計) 横山ミサ

収入		支出	
項目	決算額	項目	決算額
前年度繰越金	¥280,515	会議費	¥0
会費	¥70,000	事務用品	¥3,408
本部助成金	¥79,000	印刷費	¥7,547
MUSABI展出品料	¥0	ひとくち講演	¥0
MUSABI展懇親会	¥0	MUSABI展会場費	¥0
MUSABI総会懇親会	¥0	MUSABI展懇親会	¥0
寄付金	¥12,000	MUSABI総会懇親会	¥0
利息	¥2	通信費	¥21,570
		振込手数料利用	¥1,760
		雑費(香典等)	¥2,265
		次年度繰越金	¥404,967
収入合計	¥441,517	支出合計	¥441,517

校友会、交友会員の活動記録・予定 (順不同)

■川崎一朗 昭和32年(1957) 校本洋

- 『第77回 現展(現代美術家協会)』
2021年6月2日(水)～7日(月) 国立新美術館
- 『現展 尾道グループモープ会』
2021年7月1日(木)～15日(木) 尾道孔雀荘
- 『現展山陽支部展』
2021年12月22日(水)～27日(月)
東広島芸術文化ホール くらら

■塩飽一昭 昭和36年(1961) 校本洋

- 『福山美術協会会員展』
2021年10月20日(水)～24日(日)
ふくやま美術館
- 『備南洋画展』
2021年10月25日(月)～30日(土)
府中市 来夢来人
- 『福山城築城400年記念
文連芸術展』
2021年11月30日(火)～
12月5日(日)
ふくやま美術館



■鎌田七洋 昭和40年(1965) 校美術養成

- 『第77回 現展(現代美術家協会)』
2021年6月2日(水)～7日(月) 国立新美術館

『現展山陽支部展』

2021年12月22日(水)～27日(月)
東広島芸術文化ホール くらら

■西岡康雄 昭和50年(1975) 学美油

- 『第40回 日現記念展(日本現代美術協会)』
2021年9月28日(火)～10月3日(日)
ホルベイン工業賞 受賞 大阪市立美術館
- 『第8回 西岡康雄展』
2021年12月16日(木)～22日(水) 周南市文化会館

■靱井 加代子 平成2年(1990) 通美

- 『第95回国展(国画創作協会)』賞候補
2021年5月 国立新美術館(コロナのため開催中止)
- 『第6回 Art Exhibition 瀬戸内大賞』
奨励賞 2021年3月4日(木)～7日(日)
呉市立美術館

■岡崎隆一 平成10年(1998) 短通デグラ

- 『JAGDA 広島 ヒロシマ平和ポスター展』
2021年8月2日(月)～15日(日)
旧日本銀行広島支店
- 『第105回 二科展』デザイン部 環境大臣賞
2021年9月1日(水)～13日(月) 国立新美術館
- 『第65回 二科展 広島巡回展』広島市長賞
2022年1月11日(月)～16日(土) 広島県立美術館

■横山ミサ 平成12年(2000) 通美

- 『第9回 アートブロッサム展』
2022年7月21日(木)～16日(土)
場所: 福屋広島駅前店6階ギャラリークリエイト
- 『広島金沢グループ展』
2022年9月17日(土)～23日(金) 木利画材 2F 虹色ラボ

■木本良助 平成12年(2000) 学油

- 『第74回 二紀展』2021年10月13日(水)～25日(月)
国立新美術館
- 『二紀会広島支部有志による小品展』
2022年1月11日(火)～16日(日)
ギャラリー718
- 『第15回 春季二紀展』2022年3月25日(金)～31日(木)
東京都美術館

『広島二紀作家展』前期

2022年6月18日(土)～7月18日(月・祝) 泉美術館

■島崎陽子 平成19年(2007) 造油

- 『第88回 独立展(独立美術協会)』
2021年10月13日(水)～25日(月) 国立新美術館
- 『彩祭展(独立美術協会)』
2022年2月17日～3月2日
東急百貨店吉祥寺店 美術サロン

職場

アトリエ訪問

校友会のみなさんの活動を紹介する新コーナーです。

木本良助さん 平成12年 学油

—いきなりですが、絵を描き始めたきっかけなどをお話いただけますでしょうか。

母が日本版画会に所属していて、子ども達にも絵を好きになつてもらいたいと言う理由から幼稚園児の兄を写生会などに連れ出していたんです。

笑い話ですけど、幼少の兄の絵は教育学部で専門教育を学んだ母からみると、あまりにも自由な作風（笑）で少し心配になったみたいです。そんなわけで、自分が学んだ知識をもとにして絵を教えようという気になったんじゃないかな。

僕は入園前で写生大会の参加資格はなかったのですが、兄の横に座って楽しく描いていました。

幼稚園に入つてからは写生大会やコンテストなどで大きな賞をもらえたりするように、それがおもしろくて



高校生の頃まで、兄と一緒に描いて描いて描きまくって、沢山の賞を受賞しました。

正直言うと、そこまで夢中になつて絵を描いていたのは、木本家には受賞する度にご褒美がもらえるシステムがありました（笑）消防車を描いたり、

宮島の風景を描いたり。小中学生の間に何百枚も描いて出しました。

—何と、最近はやりの継続的目標達成サイクルですね（笑）それじゃ、高校は美術部でバリバリ活躍されてたんですか？

高校は美術部には入らず、ひろしま美術研究所に通ってました。子どもの頃は母に教えてもらってましたが、油絵をきちんと勉強してみたかったのと、まわりが美大に進学するのが当然と言う感じの流れもあったので。

—卒業後はそのまま武蔵美に？

いや、一浪です。最初の年は藝大と武蔵美を受験して両方とも不合格。翌年は武蔵美と広島市立大学の芸術学部を受験して、武蔵美が先に決まったので第一志望の武蔵美に進学しました。



制作中の記憶シリーズ新作

—武蔵美を選んだ理由は？

武蔵美の伝統と言うか先輩方の作風に大いに共感する部分があつて、勉強するなら武蔵美の学油だと思つていました。

—木本青年が広島から上京したわけですが、学生生活はどうでしたか。何か思い出とか。体験とか。

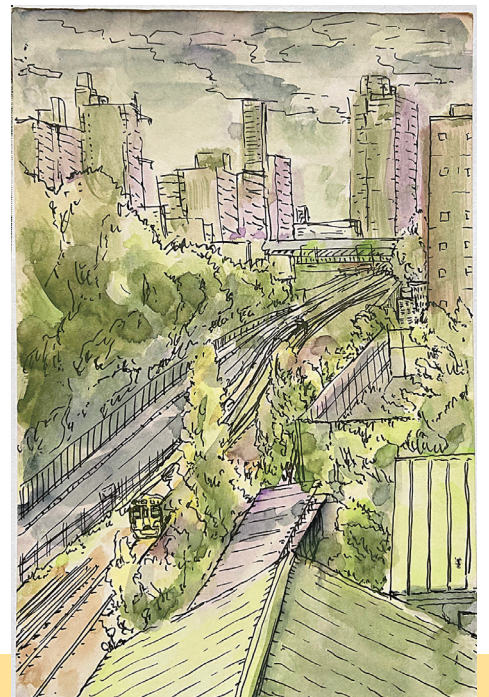
東京の親戚と大学の中間と言う事で玉川上水駅近くにマンションを借りていました。このあたりは広島の雰囲気近くて落ち着いて暮らしてました。

—通学はバスですか。

自転車を通ってました。大学まで30分くらいの距離です。

—画材を抱えて自転車で30分の距離は大変じゃなかったですか。

ほとんどは大学で描いていたので、大きな画材を持ち運ぶような事はあ



玉川上水のマンションから眺めた風景（水彩）



学生時代の作品 尾道の風景（油彩）



今年の干支「寅」の年賀状（版画）

「水彩は良く描かれるんですが。」

— 水彩は良く描かれるんですが。 —

そうですね。小学生のころからずっと描いていたので。高校生の時に広島駅から備中神代まで芸備線の沿線を描いて広島駅のステーションギャラリーで個展を開催した事もあるんですよ。それと母の影響で版画も。版画は毎年年賀状用につくっています。

サークルはマンガ研究会に所属していました。会報にイラストを載せたり、展示用のイラストを描いたりとか。

マンガは少年時代から好きだったけど、ストーリーを構成するような才能は無いと感じていたので、単純にサークル活動として楽しんでいました。

— 学祭の思い出は何かありますか —

広島風お好み焼きの看板を出している屋台で、お好み焼きの上に角切りの生のキャベツを2〜3枚乗せたものを売って、さすがにこれは違うだろうと衝撃を受けました。控えめな性格なの



学生時代の作品 (油彩)

で文句を言えませでした(笑)。

あとサークル伝統のたこ焼き屋台の練習で、タコは高いのでウインナーとかいろいろな具材を入れて練習&たこ焼き?パーティーをするのですが、アポロチョコを入れた時の衝撃的な不味さは忘れられません。楽しい思い出です。

— 武蔵美で印象に残る講義などありますか —

いまま武蔵美で教鞭を取られている遠藤彰子先生ですね。アトリエから絵を出せなかったので家の柱を切って搬出した凄くエピソードの持ち主です。作品をはじめて拝見した時の印象がとて強くて、かなり影響を受けました。

— 遠藤先生とはいまでも交流はありますか。 —

二紀展の作家をされていて、そのつながりで自分も二紀展に出品しています。

— 最近描かれた作品についてお聞きしたいのですが。 —

二紀展に出品するために100号で2点描きました。「記憶の地層」と言うタイトルで、ひとつは「学び」もうひとつは「遊び」をテーマの連作です。記憶の地層に深い根が張っていて「遊び」、「学び」の思い出が積み重なって個につながる言イメージです。二紀展には「遊び」が入選し展示されました。

それと、春期二紀展に「GAME地層」と言う、ゲームの歴史をテーマにした地層シリーズの新作を出品しました。基本的に飽きっぽい性格なのでテーマがどんどん変わるのですが、自分の街や子どもの頃の記憶の作品テーマが多いように思います。

— 最後に校友会広島支部の新支部長として一言お願いします。 —

支部の事務の流れなどを二応把握している担当が私だけしかないのが選任の理由だと思います(笑)

事務局長や幹事のみなさんと協力して支部の発展に尽力できたらと思います。



地層シリーズ「遊び」(油彩)

近況ひとこと

茶木富夫 昭和31年(1956) 校図

いろいろご心配を煩わせます。よろしくお祈りします。

篠崎多恵子 昭和34年(1959) 校図二

昭和34年 武蔵野美術学校に入学、当地は吉祥寺に教員養成課と洋・日本と敷地は同じで校舎が異なるだけ。その後国立の方へ移転し、男子より女子が多くなる。吉祥寺も田舎風景がひろがり寶福寺や井の頭公園へ行き、ディスカッションしたものです。また、有楽町や銀座へも出かけて画廊巡りをして絵の具代がコーヒー代に変わり楽しい思い出です。

横田良作 昭和35年(1960) 校本日

85才になった。そろそろ身辺整理を考えなくては。老人性うつ病にだけはならないように気をつけなければと思う。今こうしてペンを持つ手がふるえる。乱筆お許しください。

塩飽一昭 昭和36年(1961) 校本洋

今年近親に亡くなる人が続き、若い頃の事象が蘇る日が多くなりました。絵を描くときは忘れております。救いです。

藤村朋弘 昭和36年(1961) 本商デ

ネットに詳しい友人にネットで絵を売るようにすすめられ、今A4サイズでパステル画を描いています。さらに絵本も可能だと言われ童話と絵本も作りはじめました。これが実を結ぶのかどうか全くわかりませんが、久々に絵を描きストーリーを書き楽しんでます。

高木久美代 昭和38年(1963) 校本洋

皆様 お元気でいらっしゃいますでしょうか。どうぞお元気にいらっしゃいますようお祈りいたします。いろいろお世話になります。有難うございます。

伊勢康幸 昭和40年(1965) 学産芸

ちょっと体の調子が悪くて苦勞しています。もう年かな。

今井諭 昭和40年(1965) 学産芸

コロナで行動も制限されている日が続いています中、この度白内障の手術をしました。特に目が見えないとかではありませんでしたが友人がやるので一緒に車でおくりわかえて頂けるのでやりました。やった後、なんと世の中明るく見える世界に驚きました。暗い話題ばかりですが、早くコロナが収まり校友会総会で皆さんと楽しく一杯やりたいですね。

総会決議案内にご返信いただいたメッセージです。編集作業にあたり語句の修正を行っています。誤字や意味の取違いなどありましたらお許しください。

友安一成・径子 昭和46年(1971) 学美術

表現系の展覧会情報が中心のようですが、それ以外の会員様の楽しいご紹介があると面白いかと思ったりします。

西岡康雄 昭和50年(1975) 短通美術

コロナ禍と言えども、制作に重点をおいた生活に変わりはない。

平井俊雄 昭和51年(1976) 専商デ

私が所属している弓道連盟では、徐々に元の状態に戻つつありますが、いくらか新しいやり方を実施しています。「真剣だと知恵が出る、中途半端だと愚痴が出る、いいかげんだと言い訳ばかり。」ということば通り、真剣に知恵を絞って今後の活動を考える時なのだろうと思う最近です。

安並 徹 昭和59年(1984) エデ

コロナで仕事が切れて1年半が過ぎました。仕事を見つけないといけないしんどい日々ですがたまに気晴らしで水彩画を描き始めました。デザインの仕事と違って心の充足感があります。まだたまにしか描いていませんが、上達したらまたご披露したいと思えます。またご指南頂けるとうりがたいです。

岩政 亜希子 昭和61年(1986) 短生

都合により広島支部を退会させていただきます。長い間、お世話になりありがとうございました。

今中由美子 昭和63年(1988) 短生

コロナ禍の中運営等大変かと思いますがよろしくお祈りいたします。

初井 加代子 平成2年(1990) 通美

2022年度は5月に東京銀座「向日葵」にて、10月に広島職町フレンチレストラン「オラージュ」にて、個展をする予定です。

岡崎隆一 平成10年(1998) 短通デグラ

コロナ禍で活動を制限される中、半ば引きこもり状態でしたが、新しい試みにチャレンジできた年でもありました。失敗したのは「抽象画」の挑戦。50号のキャンバスを手作りで組み立てたものの、真っ白いキャンバス汚すのが怖くて、画面に向き合ったまま途方に暮れて何も描けないまま数ヶ月。今は、この時購入した

大量のアクリル絵の具でシルクスクリーンに挑戦中です。シルクスクリーンの露光機や印刷機を設計・制作するのが本当に楽しくて、工芸的な要素もあり、自作派の自分にはとても合っていると思います。

積山ミサ 平成12年(2000) 通美

南区にある旧陸軍被覆肢廠跡の活用方法について議論しています。コロナ禍を乗り越えて、今後の展覧会が、広島をはじめ、大阪、金沢、名古屋、東京など、日本全国での予定が詰まっております。

海外では、メキシコ、ポーランドなどで打診があったのですが、ロシアとウクライナとの戦争などの国際情勢によって、イベントが保留になっています。広島のアーチストとして、世界でアートに関わる責任の重さを感じています。

松田美佳 平成13年(2001) 通デグラ

いつも会報等ありがとうございます。皆様が、お元気に、おだやかに過ごしていただければながら活躍されること、お祈り申し上げます。

堀 郁子 平成18年(2006) 造油

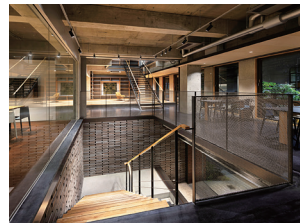
主人(高校国語教師をしていましたが亡くなり一人暮らしを25年しておりました。一人暮らしが心配と言う事で、現在岩国のなんわ荘でお世話になっています。作品は描いておりませんが勉強は続けたいと思っております。大変遅くなりましたが、よろしくお祈りします。

島崎陽子 平成19年(2007) 造油

ウクライナが平和を取り戻し、国内・世界のコロナ禍が解決し、ムサビ展が喜びに満ちたイベントになりますように！

大旗 祐 平成22年(2010) 院建

大旗連合建築設計の事務所を改修して移転しました。



坂本雅美 通信

最近繡仏に興味を持ち、製作を試みています。

編集後記

岡崎隆一 平成10年(1998) 短通 デグラ

校友会報の原稿資料の受け取りに、新支部長の本木さんのご自宅に伺いました。今年は支部総会もMUSABI展も開催されないため、会報の内容をどうしようかと雑談する中、本木さんのご自宅(アトリエ)訪問を記事にさせていただけないかと私からお祈りしました。

総会などのイベントでしかお話しする機会がなかった本木支部長のお人柄などを、アトリエ訪問と言うかたちでタイムリーで紹介できて良かったと思います。

今後も校友会のみなさんのお仕事や創作活動を紹介する場として、職場・アトリエ訪問を掲載できれば良いなと思っています。

武蔵野美術大学校友会広島支部会報

MUSABI No.38
2022.06

〒720-0052 広島県福山市東町 3-3-16

編集・制作 岡崎隆一 TEL 090-4808-9905 toi@mac.com

武蔵野美術大学校友会広島支部年会費について

年会費は2,000円です。総会やMUSABI展などの参加費は参加者だけの徴収ですが、年会費は全員が対象です。同封の振込用紙で年会費の振込も対応していますのでご利用ください。円滑な会の運営のためにも、ぜひ、ご協力をお願いします。

※広島支部では活動活性化のため、長期未払い支部会費の免除処置なども講じております。事務局までお問い合わせください。

ゆうちょ銀行 口座記号番号: 01330 - 6 - 100173

口座名称: 武蔵野美術大学校友会広島支部

校友会報の原稿をお寄せください

校友会報の原稿を募集しております。テーマは自由です。校友会報は、相互の親睦を図ることを目的としています。この趣旨をご理解のうえ、楽しい原稿をお待ちしています。(紙面の都合で添削・短縮させていただく場合があります)

原稿には、「お名前、卒業年度、学部・学科等を記載し、写真や作品などの図版を程度添付してください。原稿との関連写真には、簡単な説明を添えてください。原稿写真は返しませんので、ご了承ください。ただし、写真の返送を希望される場合は、原稿の末尾に、その旨を記載してください。